

2011年2月2日

**「QUADRANT AWARD 2011」受賞者決定のお知らせ**  
- エンプラ及び複合材に関わる博士論文。日本人が初の1位を受賞 -

三菱樹脂株式会社  
**Quadrant AG**

三菱樹脂株式会社(本社:東京都中央区、代表者:吉田 宏)の連結子会社である Quadrant (クオドラント)AG(本社:スイス チューリッヒ)が主催する「QUADRANT AWARD 2011」の最終選考会が、1月22日、チューリッヒのスイス連邦工科大学 (Swiss Federal Institute of Technology) において開催され、最終候補者6名の中から、梶谷忠志博士が第1位に選ばれました。日本人の1位受賞は今回が初めてです。

この「QUADRANT AWARD」は、エンジニアリングプラスチックや複合材材料の研究開発に取り組む研究者の育成と産学の連携に対する支援を目的に、2005年に Quadrant グループが創設した博士論文の表彰制度です。「エンジニアリングプラスチックもしくは複合材の材料や加工」に関わる博士論文を対象に2年に一度開催されており、第4回となる今回は、2008年10月1日からの2年間に博士号を取得した博士論文が対象となりました。世界各国から応募された43の論文から事前審査で6つの論文が選ばれ、1月22日にその最終選考会と表彰式が行われました。受賞者は以下の通りです。なお、賞金は、1位 15,000ユーロ、2位 7,000ユーロ、3位 3,000ユーロです。

<受賞者>

- 1位 Dr. 梶谷 忠志 / 東京大学 (日本)  
テーマ: 高分子溶液の液滴乾燥過程のダイナミクス
- 2位 Dr. ノーマン・リッヒングエル / スイス連邦工科大学チューリッヒ校 (スイス)  
テーマ: 金属ナノ粒子をベースとしたコンポジット材料
- 3位 Dr. ミッシェル・ザイツ / ノースウェスタン大学 (米国)  
テーマ: トリブロックコポリマーゲル構造、破壊挙動とセラミック成形への応用  
※大学名は、博士号の取得大学を記載

<審査委員>

- |                     |                         |
|---------------------|-------------------------|
| 1) フォルケル・アルシュタット教授  | バイロイト大学 (ドイツ)           |
| 2) グレン・フレデリクソン教授    | カリフォルニア大学サンタバーバラ校 (米国)  |
| 3) マルティン・グルーベル教授    | イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校 (米国) |
| 4) ジャン・アンダース・マンソン教授 | スイス連邦工科大学ローザンヌ校 (スイス)   |
| 5) 西 敏夫 教授          | 東北大学 (日本)               |
| 6) イグナス・ヴェルペスト教授    | ルーヴェン・カトリック大学 (ベルギー)    |

<ご参考：Quadrant グループについて>

世界 20 カ国に拠点を有し、エンジニアリングプラスチック製品やガラス長繊維複合材、射出成形品などの事業をグローバルに展開しているグループです。特に主力事業となるエンジニアリングプラスチック製品事業では世界最大手です。日本においても、日本ポリペロン株式会社などの 3 社の子会社を有しています。また、2009 年には、三菱樹脂との戦略的事業提携を実施し、三菱樹脂グループと広範な事業においてその連携を図っています。



受賞者（左から Dr. ミッシェル・ザイツ、Dr. 梶谷 忠志、Dr. ノーマン・リッヒンゲル）



表彰式

<本件に関する報道関係のお問合せ先>  
三菱樹脂株式会社 総務部広報室  
TEL:03-3279-3800